

(11) 2014年(平成26年) 1月30日 木曜日

尾張北部地域 特集

歴史と伝統

江南市

江南商工会議所(大塚祥敬会頭)は、ことしも多彩なイベントを展開する。中でも特徴的な事業が「食でのにぎわい事業」。これまでに「コーナースタイルランチ」が話題を集めてきたが、さらに街を盛り上げるため、新たに「コーナースイーツ」としてブランドを立ち上げた。江南市のマスコットキャラクターである藤花(ふじか)ちゃんをイメージした。江南市をアピールする新しいスイーツとして積極的に売り出したいとしている。各店の特長を生かした商品を展開することで、中心市街地の活性化にも役立てたい考えだ。

この「藤花ちゃんシリーズ」は、同会議所が昨年10月5、6の両日開かれた「江南市民まつり」でデビュー。「藤香ちゃん小丸せんべい」(大口屋)「おやさい殿」(柏屋)▽「藤花ちゃんのおやつ」(シヤルドン洋菓子店)「藤花ちゃんサブレ」(ベルジュール)「藤花ちゃん」(ろ) (み

「和プリン」加えスイーツ充実

土産品で 知名度高め 防災体制強化にも力

つ雀の5種類を展開している。

このほど商品に加わったのが、尾張ついろ(江南市五明町太子堂132)の



今月発売された「和プリン藤花」

「和プリン藤花」(150円)だ。抹茶ソースと紫芋を使った商品で藤の花を表現。「抹茶のほろ苦さとういろのやさし甘さを味わってほしい」(尾張ついろの野々川幸男代表)と期待を込める。

戦国武将として著名な蜂須賀小六の出身地として有名な同市だが、観光土産品が少ないのが課題だった。

「こころした」品を開発する。市役所本庁舎の東側へ

ることで、江南市の知名度を高めた(堀尾真行専務理事)と期待をこめる。

同会議所の「食でのプロジェクト」では、商品をさらに投入していきたい考えで、今後事業参加を希望する企業や商店などをさらに働きかけていく。

また、ことし市制60周年を迎える江南市は、防災体制の強化に力を入れている。市役所本庁舎の東側へ

「江南市防災センター」を現在建設しており、3月に完成する予定だ。同センターは鉄骨造り3階建て。延べ床面積は1893.2平方メートル。1階に8台の車が収容できるほか、災害対策本部や防災センターを設置する。大規模災害が発生したときに迅速に災害情報を伝達する拠点とする考えで、完成後は防災安全課のスタッフ8人が常駐。非常時の災害対策を万全にする考えだ。